

[ 江別市 ] 施策達成度報告書

政策 04 安全で快適な都市生活の充実

施策 01 安全な暮らしの確保

主管課 市民生活課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路状況や交通標識の整備、交通安全意識の定着などに伴って、全国的に交通事故発生件数の減少傾向が続いている。</li> <li>生活水準の向上や防犯体制の整備とともに、全国的に犯罪件数の減少が見られるが、ひったくりや振り込め詐欺など、身近な生活の場での犯罪が増加しており、自ら防ぐ意識が必要となっている。</li> <li>墓地・葬斎場の安定的なサービス提供、空き地の美観保持及び犬猫の飼主のモラル向上に関する市民の関心が高くなってきている。</li> <li>消費生活が多様化、複雑化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年代層に応じた交通安全教育の充実と自転車や自動車走行時の交通安全意識の高揚。</li> <li>地域における犯罪や暴力を見逃さない地域住民の連携意識の高揚。</li> <li>夜間の犯罪や事故を防止するための街路灯の整備・充実。</li> <li>市民の心配ごとや悩みごとの増加に対応する相談窓口の確保。</li> <li>市民生活における快適な環境衛生の確保及び犬猫の飼主のモラルの向上。</li> <li>消費生活の安定。</li> </ul>

施策の目的

市民の安全意識を高めることで、事故や犯罪を未然に防ぎ、また、衛生面での改善を図ることで、安全で衛生的な暮らしを確保します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

安全で衛生的な暮らしを確保する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	%	57.7	59.2	—		↗

施策の達成状況 (22年度)

地域での交通安全の推進や防犯活動による意識が高まっているが、環境に対する苦情では、犬猫の飼い方、モラルに関するものが依然として見られるため、今後も安全で快適、衛生的な生活環境の確保に努め、市民が住みやすいまちづくりを進める。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	233,143	200,197	225,267
事業費(千円)	185,427	158,688	181,276
人件費(千円)	47,716	41,509	43,991

## 01 交通安全の推進

## 基本事業の目的

交通安全活動を推進することで、市民が交通ルールを身につけるようにします。また、運転者が安全に走行することで交通事故を減らします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、運転免許所持者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

各年代層に応じた交通安全教育を推進し交通安全意識の醸成を図る  
実技体験による危険回避法を学び安全知識を養う  
交通事故の被害者・加害者とならぬよう責任ある行動を自覚する  
車両の安全走行を促し、高齢者等の交通弱者を交通事故から守る

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
交通事故発生件数	件	492	376	327		460

## 基本事業の達成状況 (22年度)

人身交通事故発生件数327件(前年比△49件)であり引続き減少し、全国及び全道も減少したが、減少率では全国・全道を大きく上回るものであった(全国△1.7% 全道△7.3% 江別市△13.0%)。特に交通事故死者数は1人(前年比△4人)であり、昭和29年の統計開始以来、最小の人数であった。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	28,952	23,880	23,848
事業費(千円)	12,355	9,372	9,593
人件費(千円)	16,597	14,508	14,255

## 02 防犯活動の推進

## 基本事業の目的

家庭や地域で防犯活動を自発的に行うとともに、各種団体が住民に対し犯罪防止に関する啓発活動を行うことで、犯罪を未然に防止します。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、自治会、防犯関係団体

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・住民への犯罪防止に対する啓発により犯罪に逢わないようにする。
- ・防犯関係団体や自治会等の自主活動により犯罪を防止する。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
犯罪発生件数	件	1,293	1,202	1,120		1,200
防犯活動を行っている自治会の割合	%	51.2	51.2	51.2		55.0
家庭における防犯活動実践度	%	33.5	31.2	—		↗

## 基本事業の達成状況 (22年度)

犯罪の発生件数(刑法犯認知件数)は減少しており(対前年比△67件)、全道の傾向と同じであった。江別警察署及び自主防犯パトロール隊と連携し、今後も防犯活動を推進していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	98,204	82,999	92,273
事業費(千円)	92,394	76,551	84,534
人件費(千円)	5,810	6,448	7,739

## 03 市民相談の充実

## 基本事業の目的

市民が悩み事を相談できる「場」を設け、周知することで、気軽に生活のことで相談ができるようにします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

暮らしのことで相談できる「場」がある。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
市の相談窓口を知っている市民の割合	%	67.0	69.3	-		↗

## 基本事業の達成状況 (22年度)

景気の低迷に伴う雇用不安に加え、少子高齢化や核家族化による老人世帯の増加等を背景として、生活全般に対する不安感が広がっており、相談件数も増加傾向を示している。相談内容が多様化かつ専門化してきており、相談員の知識取得や適切な相談機関を紹介できる情報把握に努めて、相談体制を維持していく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,658	1,628	2,472
事業費(千円)	828	822	843
人件費(千円)	830	806	1,629

## 04 快適で安らげる生活環境の充実

## 基本事業の目的

墓地の整備、ペットの飼育に関する啓発活動、空き地・空き家の適正管理の指導を行うことにより、まちの衛生・安全・美観が損なわれることを防止し、市民が住みやすいまちにします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民、(空き地・空き家)所有者

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

衛生・安全・美観を損なうことを防止する。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
ペットに関する苦情件数	件	165	51	46		150
空き地・空き家に関する苦情件数	件	77	74	61		70

## 基本事業の達成状況 (22年度)

ペットに関する苦情は年々減少してはいるが、依然として後を絶たず、生活の快適さを損なう要因となっており、巡回指導や広報、看板等により、継続して飼い主に対してマナーやモラルの意識啓発を行っていく必要がある。空き地の草刈についても、環境保全に対する関心の高まりから苦情が減少しているが、今後とも継続的に早期に巡回するなどして、生活環境の充実に努めていく。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	86,307	73,878	84,900
事業費(千円)	69,711	60,176	71,459
人件費(千円)	16,596	13,702	13,441

## 基本事業の目的

苦情相談や消費者ネットワークを充実させ、市民に消費生活についての正しい知識を提供することによって消費者被害の未然防止を図ります。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

正しい知識をもって被害にあわないようにする。

## 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
消費生活相談解決割合	%	75.5	79.2	76.7		85.0

## 基本事業の達成状況 (22年度)

相談件数自体は減少しているものの、個別の事案に関しては金融商品や先物取引等、高度な商品知識を伴うものが増えている。解決に要する相談回数、相談時間ともに増加しており、あっせん解決力の強化を図っていく必要がある。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	16,434	16,247	19,384
事業費(千円)	9,380	11,008	14,088
人件費(千円)	7,054	5,239	5,296

# 主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。  
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

政策 施策	主  な  事  業	事業費 A	A の 財 源 内 訳					主  な  内 容	人件費 B	総額 A+B
			国	道	市債	その他	一般財源			
04 安全で快適な都市生活の充実										
01 安全な暮らしの確保										
	◎ 交通安全教育・啓発事業	8,938				60	8,878	交通安全教育・啓発事業(交通安全教室・家庭訪問・街頭啓発・交通安全運動等)	12,492	21,430
	◎ 地域防犯推進支援事業	359					359	江別防犯協会への事業費補助	416	775
	◎ 市民相談事業	842					842	市民相談、無料法律相談、家庭生活相談経費	833	1,675
	◎ 消費生活相談事業	3,138		700			2,438	消費生活相談(消費者協会へ委託、全日2人体制)	1,249	4,387
	○ 公共街路灯新設更新等事業	2,209					2,209	公共街路灯の新設更新経費	833	3,042
	○ 街路灯設置費補助金	5,169					5,169	自治会等街路灯管理団体への設置費補助	833	6,002
	○ 江別地区保護司会補助金	682					682	犯罪・非行防止活動の中心的役割を担う保護司会への補助	416	1,098
	○ 葬斎場施設整備事業	5,261					5,261	葬斎場の施設整備経費(胞衣炉耐火物積替、霊台車耐火物打設・取替・金物同時交換、自動ドア修理)	2,498	7,759
	○ やすらぎ苑整備事業	675				675		【新規】住宅街隣接地への植栽	833	1,508
	○ 江別消費者協会補助金	2,165					2,165	消費者協会の運営費補助等	833	2,998
	○ 消費生活コーディネーター業務委託経費	330					330	消費生活コーディネーター、消費生活モニター(消費者協会へ委託)	416	746
	○ 消費者行政活性化事業	6,202		6,202				「消費者行政活性化基金」を活用した消費生活相談窓口機能強化事業、【拡大】消費者行政活性化オリジナル事業、消費者教育・啓発活性化事業	2,082	8,284

※平成22年度予算金額です。